

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

【取り組みの事実】

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

【取り組んでいきたい項目】

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

【取り組んでいきたい内容】

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】(アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム ケアクオティ草薙
(ユニット名)	2ユニット
所在地 (県・市町村名)	静岡県清水区草薙1丁目23番16号
記入者名 (管理者)	影山 廣美
記入日	平成 21 年 7 月 15日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	近隣の方々との交流を妨げることなく自然な形の交流が持てるきっかけを作ったりする
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	介護の面だけでなく、医療の面でも職員会議等を利用し取り組んでいきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	近隣の方々の援助あつてのグループホームであることを常に認識し、援助を受けられるよう地域の行事等に努力していきたい
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	自治会長さんが入れ替わったりで会社努めの場合なかなか合えないこと有、会合等に出席にてお会いできるようにしていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	利用者様が笑顔で近隣の方々と立ち話をされている時は職員も仲間に入れてもらうようにします

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	毎月10日天皇原公園の清掃への参加	○	草取り・掃き掃除、なるべく参加できるよう促していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	衛生面においてご飯の残りを冷凍して残さない、床の清掃に気を配る	○	引き続き新人職員に床の清掃に気を配り、掃除とは床だけでなくテレビの上、台の上も掃除でしなければならないことを心掛ける。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎月10日天皇原公園の清掃への参加 年1回公園、美術館等で花見ができるようにスペースを確保する	○	新人職員に実際に行っている事実を伝えていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の防災セミナー等への参加	○	自助と共助の連携において本事業所使用可能であれば地域の一時避難場所として開放していく方針。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	毎月1回の職員会議の際資料を基にレジメを作ったりして学んでいく	○	利用者様において実際利用されている方把握に努めています
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待とは何か？をセミナーに参加し参加した職員は職員会議等で発表し伝えていく。	○	夜間帯の徘徊などに対する拘束をなくす事、対応を職員間で話し合っている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> <p>重要事項、契約書の説明を行い、苦情もいつでも受け付けていることを伝え、家族はいつでも管理者に報告相談できることを説明し、ケアプランのカンファレンスへの協力の説明、納得も実施しています。</p>	○	相談はいつも利用者様だけでなく家族も不安なく暮らせるように協力していきます
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>苦情受付ポスターを貼ってあります。</p>	○	御利用者様が電話をしたいとき常識の範囲で電話ができるように職員が間に入る
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> <p>毎月1回領収証の原本と預かり金の使い道がわかるようコピーし郵送している いつでも職員の顔がわかるように写真を1階出入り口に名前入りで貼り出している。</p>	○	継続していきます
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>・家族会開催 ・施設内にポスターを貼り苦情意見などがホーム長に相談できるよう明確にしています</p>	○	家族会。運営推進会議・ケアカンファレンスにおいてホーム長ケアマネだけでなく、担当職員参加し、意見交換の場を持ち反映しています。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> <p>毎月1回の職員会議</p>	○	意見を拡大させもっと良いホームの為反映させていきたい
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> <p>職員同士の相互理解、ホーム長から理由と勤務調整の話し合い</p>	○	個々の職員同士の協調性を高める為、会話ができるようにしたい
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> <p>利用者の状況報告を月1回まとめて報告し、1F・2Fの利用者様の状況把握に全職員が努める</p>	○	職員会議等で全職員が報告を受けられ、全利用者様の把握ができるようにしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人職員の内部研修	○ 認知症実務者研修の受講
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	包括支援センターの実施する研修の参加を行ったり、病院関係の嚆下講習等に参加し勉強の機会を増やし、職員会議等で報告発表しています。	○ まだ未熟な点もあり今後も課題を広げていきレベルが上がる努力をしています
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の仕事に関する悩みや、個人の悩みはその都度聞いて解決する努力をしています	○ 個人感情もあり大変なこともあります、なるべく跡に残さない形での話し合いを行います
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勤務体制希望休日の考慮を視野に入れシフトづくりをして、その都度職員間、ホーム長と相談して決める。	○ 継続していきます。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	食事時間・入浴時間・職員と1対1になれるときにご本人の本心を聞き取る努力をしている	○ 傾聴する余裕ある時間と心を心掛ける
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	随時事務所は開放され、家族からの連絡は取れるようになっていて、利用者様と御家族様との信頼関係が続けられるように努力しています。	○ ご家族様がどの程度満足して頂いているかは？の部分は有りますが、随時お話できるようにしております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	職員対応の生活活動の歩行だけでなく、マッサージ師(家族承認希望)対応のマッサージをケアプランに取りれる	○	職員対応の生活活動の歩行だけでなく、マッサージ師(家族承認希望)対応のマッサージをケアプランに取りれる
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いつからサブす開始なのか？他の利用サービス利用時は、最初職員、ホーム長、家族が間に入り対応。	○	継続していきます
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	他利用者様のエプロン付けを手伝ったり、配膳下膳を自分でしたり、同席の方の分も手伝ってくださる。	○	継続していきます
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・御家族の休日で困らない程度に御家族と一緒に過ごせる時間を作る。 ・衣類の購入を頼むこともあります	○	・継続していきます ・本人と一緒に職員同行で買い物に行き、衣類の選択決定を進めます
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	本人が不満に思っていることを聞き取り、そのことにとらわれてパニックにならないように会話し、御家族間の交流を妨げないように努力する	○	本人が不満に思っていることを聞き取り、そのことにとらわれてパニックにならないように会話し、御家族間の交流を妨げないように努力する
30	○馴染みの人や場所との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自力で外出可能と御家族、施設で認めている利用者様に対して行き先の把握、連絡が取れるように電話番号のメモを持っていただいています	○	外出時、家族に会うのではなく、友人や馴染みの方の場合、どういう関係なのか不快に思わない程度に把握努力します
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食後おやつ後、ゆっくり会話ができるように介助で邪魔しないよう努める	○	ホールになるべくいてもらい、居室ばかりで孤立しないようにする

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	訪問される時は、職員一同で話したり、電話の対応もします	○	変らない関係でいたいと努力します
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	危険と判断できない状況であれば外出が早朝でも引き止めず見守る	○	その日とその人の個性に合わせたケアに努力しています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	既往歴・御家族からの情報を職員一同伝達したり、チェックする努力をする	○	継続していきます
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送りの徹底、ケース記録を読む1ヶ月のこの利用者様のまとめを読む	○	徹底できる時とできないときあり、工夫勉強が必要と、他職員間の協力も必要かとも思われる。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	買物時、一度に大量に買うのではなく外出する機会が増やせるように2, 3個の購入に留めるように本人との話し合いを行う	○	今後も自由に意見を皆様に使っていただきより良いケアを目指せるケアプランになっていければと考えます。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	せん妄が強く見られ職員対応だけでなく家族からの電話対応も取り入れた。	○	せん妄が強く見られ職員対応だけでなく家族からの電話対応も取り入れた計画を作成していく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録の書き方のチェックを入れ、見直しを行ったりどんな情報が必要とされ記録と残さなければならないかの確認を実施しています。	○	理解できている職員と、そうでない職員の差がなくなるよう指導していきたいと考えます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	職員の意識の問題もありまだ不足の部分あります。	○	今後の課題として、出かけることだけが楽しみではなくホームでの多機能を生かした楽しみを見つける眼を職員一同持っていきたいと考えています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	パチンコ店職員さんのお掃除ボランティアや、ボランティア会の方々の協力、民生委員、老人会、消防関係との協力も実施しています。	○	継続します
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ボランティアにてまかっています	○	グループホームの生活で使えるサービスが限られることも有、ボランティアさんのおかげで助かっています。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの連携は取っています。	○	何かあった時の相談をお互いにしたりしています。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携により成り立っています。	○	継続します

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	継続します
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	継続していきます
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	病院関係者との情報交換や相談に努めています。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	申し送り時、夜間対応、昼間対応可能だったか、続けていけるか状況報告、利用者様の身体状況を話し合い管理者に報告し係りつけ医に、必要があれば往診受信対応とする
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	継続しますが、命を預かっていると言う現実の中で難しい問題も発生していきだろろうと思われれます。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	家族の協力を得ながら、利用者様の対応の仕方を工夫しながら日々努力しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録記載時、尊敬語～様とつけるようにしたり、人物(他者)の場合「I」「S」様というように頭文字の部分で対応したり、特定できない努力をしています	○ 新人職員にも随時指導します
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	会話が聞き取れない場合は筆談やジェスチャーを交えています	○ 職員は常に利用者様の立場で利用者様の気持ちを組み入れる努力をします。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員体制もよくなり1人1人の要望を理解し希望に沿って行っている(ドライブ・散歩・旅行・七夕祭り。花見・誕生会・レクレーションなど)	○ 職員間の差が出ないようにしていきます。自分だったらどうだろうかを考えていきたいと思います。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・在宅時通っていた美容院への送迎を実施 ・希望時ボランティアの美容師さんの来訪を依頼	○ 本人の希望に沿って支援していますし、言えない方は、職員が判断し支援しています。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	御粥で飲み込みを良くしたり、おむすびにして食べやすくすると茶碗に持ったときより食べてくださる時があります	○ 希望により外食の機会も増やしていく
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ポカリ、りんごジュース、麦茶、コーヒー等本人に選んでもらい水分補給の支援を行っている、牛乳、ヨーグルトを希望により、宅配をしてもらっている	○ 継続します

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄日時を把握する為に「下剤日時の投与量の確認表」を使用している	○	排泄チェック表により、声掛けのタイミングや、その方の癖をつかんで誘導に繋げ失敗無く出来る支援を心がけています
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	独力で入浴できる利用者様に夕方入浴可能との声掛けをし希望あれば湯はります。	○	職員本位になっているところも有るという反省の基にもっと工夫していきたくと考えます。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	休息を行う場合は、寝たきりにならないように声掛けし、起床時間延長の努力をしています	○	自由に個々のペースを守っているつもりですが、難しく思うこともあります。
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	居室にて植物を育てたり、新聞を希望する方には毎日新聞を運搬し世の中の出来事に眼を向けられるよう支援しています	○	個々の楽しみや仕事を見つけて支援していますが、時折偏ってしまうこともあり、職員一同で話し合いの機会を増やし、利用者様担当職員はどう考えるかの意見も取り入れていきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	居室にお金を置いている利用者様もいて、お金があることで安心感を持っていただけるならば、安心してもらえるよう場所の把握だけ職員がして見守っています	○	居室にお金を置いている利用者様もいて、お金があることで安心感を持っていただけるならば、安心してもらえるよう場所の把握だけ職員がして見守っていますを継続します
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人からの訴えがあれば、いつ何時に職員と一緒に出掛けられるのか相談し外出しています	○	散歩、買物、七夕見学、花見等ほかドライブ等支援していますが、出来ないときが続くことも見受けられ、なるべく利用者が、楽しい暮らしができる形にしていきたいと考えます。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族に連絡を取り家族と共に墓参りに出かけたり、誕生日に家族と過ごすほか、職員とそばを食べに行ったりもしています	○	継続していきます

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	相手に通じるように代行で職員が書けたり、掛かってきた時は取り次いで電話で話ができるようにしています	○	継続していきます
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも来訪できるようになっていますし、ゆっくりと時間が過せるよう支援しています。	○	いつでも来訪できるようになっていますし、ゆっくりと時間が過せるよう支援しています。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は0であり、どうしてもしたら気持ちよく毎日が過ごせるのかを職員同士で話し合い、計画を立てたりしており、外出、買物も同行により自由に可能になる努力を続けています。	○	外出が嫌いな方の対応も今後考慮していきたいと思っています。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はせず随時安定した日々が過ごせる対応の仕方を職員同士で情報交換しています	○	鍵の確認ができていないとき有、訪問者が来て気がつくこともありますので、職員の意識の確認をしていきます。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	必ず自立しているように見える方でも見守りはします	○	昼夜目配り気配りを忘れず、安全に注意し支援しています。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	人によっては荷物が沢山あることで落ち着かれる場合もあるので見守りますが、危険な場合は本人と話し合いをして、処分したり家族に引き上げてもらったりしています	○	常時継続し危険回避の努力を怠らないよう努力していきます
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	目配り気配りにより、かなり事故が防げる事、喫煙職員による毎日に灰皿処理、夜間時の見回り等にて対応と、此処のケアプランにのっとって、夜間時の注意に怠らない対応を心掛けています。	○	毎日に緊張の大事さを職員一同いつも再確認していきたいと声掛けしながら実施していきたくと心掛けています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	新人職員が多くまだ救急救命の実習をしていますが、職員研修やホームでの緊急対応については、話しをしております。	○	新職員は救命の学習がまだ行われていないので、8月には実施できるようにしたいと考えております
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	半年に1回の防災訓練と、年1回の地域の防災訓練参加を実施していますし、自治会からの要望に応じて、ホームが崩壊しない限り、地域の高齢者や子供土地の避難場所として提供できるようになっております。	○	今後も協力体制の下実施していきたいと考えております。AEDも自治会より設置させて欲しい旨要望有、応じられると地主さん地お供に答えを出しておりますが、まだ実施していません。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	居室での事故の場合、巡視の間に発生することもあり得る事を御家族と共に話し合い理解を得ています	○	職員の協力により、家族と管理者の面会もスムーズに行われるようになっております。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	情報を共有するということは職員のうち誰か1人だけのせいにするのではなく、どうすれば一番良い対応ができるかということを話し合います	○	事故に繋がらないようにしているが、全員ができるように時間をかけながら、危険がないよう努力しています。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時1人1人の変化を医師に報告連絡し指示を仰いだり、服薬の確認に努めます	○	新人職員が多く薬の恐さが理解できていない事が見えてきて、今後の課題となり、症状の変化の異常さの見抜き方等についてもどう対処すればよいのかをもっと詳しく勉強していくべきだと感じていますし、今後の課題として自覚ができるよう努力していきます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給の促し野菜中心のメニュー、汁物は必ずつける	○	排便コントロールは、どうしても出にくい方、医師より屯服と座薬の処方もあり、訪問看護ステーションとの連携により対処しています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを支援している	○	口臭のある方もありその都度口臭ケアも実施しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	排泄チェック表により、水分摂取が確保できているか確認したり、希望する時は希望する物(時にはジュースであったり紅茶コーヒー等)を用意できるよう、水分摂取の苦手な方も確保が楽にできるように実施しています。	○	いろいろな種類の飲み物(カロリーの少ない物)で対応する
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	玄関に面会時や外出時のための消毒が設置しており、風邪を引いた時は即マスク対応等の実施しています。排泄時、食前等手指の手洗い消毒(エタプラスゲル)を使用して、此处のバイタルチェック時の体温計、爪きり時アルコール消毒を実施、水虫も入浴時ドライヤーにて乾燥させ薬塗布、プラテもその都度替える、お茶の足浴にての水虫緩和の努力を実施	○	今後も継続します
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	その日に購入してきたものをその日のうちに調理して食中毒が起こらないよう努力と、15日には台所後側戸棚と台と冷蔵庫の消毒掃除、16日はシンク側戸棚の消毒掃除、毎日夕食後のまな板布巾消毒等、毎週日曜日、コップの消毒、ポット洗浄を実施しています。トイレは毎日消毒掃除を実施しています。	○	職員の努力により感染症も無く過ごせていることに感謝し、今後も継続していきます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に花等の鉢植えをしている	○	孤立したホームでなく地域の中に当たり前のように溶け込んで、地域の方々に愛されるように努力していきます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掲示物(利用者様の作品)を飾ったりしています	○	継続します
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	クラシック音楽や端唄、ホールに花を飾ったり、お茶会を開いたり、レクレーション時の席の確保を気の合った仲間と隣同士の席が取れ活動を楽しめて、精神の安定が図れる努力をしています。	○	お茶会が2ユニットだけでなく1ユニットの方々も楽しめる方向に努力していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	物があると混乱する利用者様に対してはできるだけ荷物を居室に置かないようにしています	○	継続します
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気や温度調節は、ホール居室ともに気を配っています	○	上着等で調節を行うが、納得されないことがあり、課題はあります。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様が自由に活動でき、自由に使えるよう職員も其れを遮る事の無い様事故に気をつけ配慮しています。	○	居室はあくまでもプライベートルームであり、他利用者様が入っていきこうとする時は職員が介在し利用者様同士が納得いくような声掛けにより対応していますが、時折納得いかない利用者様も居り苦勞する事があります。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	できることは御自分でやれるところまでの努力を時間をかけてやって頂き、混乱は時間をかけ傾聴しながらご自分でも気づいて頂き、失敗は、プライドを傷つけぬよう配慮しています。	○	傾聴する姿勢と、プライド保持には職員一同努力しています。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダでの活動もできやすいようにサンダルを置いたり、汚れた時よのマットを設置しました。洗濯物干しや車椅子でもベランダでの活動ができるように職員が介助します。	○	洗濯物干しも、竿の奪い合いで揉める事有、竿の本数を増やしもめないように話し合いで納得して頂いたり、工夫しました。

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

もっと外気に触れる機会を増やしたり、食事のほうでも季節感が味わえる工夫をしたり、地域の方々との触れ合える機会をもっと増やしたりと、自然な形でホームが家のように近所付き合いが出来、役割をもっと持てて、人として生きていてすることがない寂しさとか、人と触れ合えないとかの孤立感を持つことの無い様、毎日が活性化して楽しい日々を送れるよう支援していきたいと思えます。